



下吉田えきまち研究会通信

目次

1. 前回研究会の振り返り
2. 今後の研究会の予定
3. お申し込み・お問い合わせ

Vol.6

「下吉田えきまち研究会」とは？

下吉田駅前広場を中心とした「下吉田えきまちエリア」の将来のあるべき姿の検討と、実現に向けてのアクションを実践していくための公民学連携の研究会です。月一回程度、平日の夕方に集まり、ワークショップ形式で長期的な視点からのえきまちエリアのビジョンと、短期的な視点からのアクションの検討を進めています。11月には、社会実験を実施し、その成果も踏まえながら、1年かけて提言書をまとめていく予定です。

1. 第6回研究会「2024年度社会実験の企画」

場所： 市民会館3階 ギャラリー1・2

日時： 2024年9月10日(水) 18:00～19:30

- 主な内容：
- ・これまでの研究会の振り返り
 - ・社会実験の目的と詳細案の発表
 - ・社会実験案に対する意見交換ワークショップ
 - ・今後の研究会の進め方説明



社会実験の概要と詳細案

第6回となった今回は、第5回と同様に11月実施予定の社会実験の内容について検討を行いました。はじめに、東京大学・武蔵野大学の学生が、これまでの研究会を踏まえてそれぞれ検討を行ったA・B・Cの3案について発表しました。

1-1 えきまちエリアの将来ビジョン

「くらしと観光の共創拠点」

- ・駅前人が集まる
- 駅前広場や駅前駐車場の空間再編により、交通の流れを整理し、観光バスや自家用車の進入を制限。快適で安全な滞在空間を創出し、ベンチや交差、キッチンカーを設置して、短期滞在者にも魅力的な駅前環境を実現する。
- ・駅前からまちへ広がる
- 駅前空間の活用をピーク時以外にも拡大し、観光客や住民が滞在を促進できるようにする。駅市・夜やアースタンプラリーなどを通じて駅周辺の人流を促し、駅前と町をつなぐ新たな動線を形成する。

2-1 社会実験の全体像

駅とまちをつなぐ

下吉田駅

駅前広場・駅構内(西側)駐車場の空間再編

観光ピーク時以外の駅周辺空間活用

下吉田駅

駅構内(西側)駐車場の空間再編

観光ピーク時以外の駅周辺空間活用

まち

まち

滞在範囲の拡大

2-3 社会実験の全体像

社会実験の全体像

A 交通・滞留：駅前広場の空間再編

- ・駅前広場の空間再編
- ・駅前広場からまちへ広がる
- ・駅前広場の活用をピーク時以外にも拡大し、観光客や住民が滞在を促進できるようにする。

B 観光ピーク時以外の駅前空間活用

- ・観光ピーク時以外の駅前空間活用
- ・観光ピーク時以外の駅前空間活用

C 回遊：滞在範囲の拡大

- ・滞在範囲の拡大
- ・滞在範囲の拡大

2-2 社会実験のターゲット

ターゲット	現状の課題	どのような動きを期待するの？
インバウンド観光客	・滞在時間やまちでの滞在範囲の拡大 ・観光客の増加によるまちの賑わいの促進 ・観光客の増加によるまちの賑わいの促進	・滞在時間やまちでの滞在範囲の拡大 ・観光客の増加によるまちの賑わいの促進 ・観光客の増加によるまちの賑わいの促進
国内観光客	・観光客の増加によるまちの賑わいの促進 ・観光客の増加によるまちの賑わいの促進	・観光客の増加によるまちの賑わいの促進 ・観光客の増加によるまちの賑わいの促進
このまちで暮らす人々	・観光客の増加によるまちの賑わいの促進 ・観光客の増加によるまちの賑わいの促進	・観光客の増加によるまちの賑わいの促進 ・観光客の増加によるまちの賑わいの促進

案 A：交通・滞留（駅前広場）

A. 交通・滞留 | 駅前広場の空間再編

目的

- ・駅前広場の空間再編
- ・駅前広場の空間再編

内容

- ・駅前広場の空間再編
- ・駅前広場の空間再編

検証項目

- ・駅前広場の空間再編
- ・駅前広場の空間再編

案 A：交通・滞留（駐車場）

A. 交通・滞留 | 駅構内(西側)駐車場の空間再編

目的

- ・駅構内(西側)駐車場の空間再編
- ・駅構内(西側)駐車場の空間再編

内容

- ・駅構内(西側)駐車場の空間再編
- ・駅構内(西側)駐車場の空間再編

検証項目

- ・駅構内(西側)駐車場の空間再編
- ・駅構内(西側)駐車場の空間再編

案 A：交通・滞留（駅前広場）

A. 交通・滞留 | 駅前広場の空間再編

目的

- ・駅前広場の空間再編
- ・駅前広場の空間再編

内容

- ・駅前広場の空間再編
- ・駅前広場の空間再編

検証項目

- ・駅前広場の空間再編
- ・駅前広場の空間再編

案 A：交通・滞留（駅前広場）

A. 交通・滞留 | 駅前広場の空間再編

目的

- ・駅前広場の空間再編
- ・駅前広場の空間再編

内容

- ・駅前広場の空間再編
- ・駅前広場の空間再編

検証項目

- ・駅前広場の空間再編
- ・駅前広場の空間再編

B. 観光ピーク時以外の駅周辺空間活用 | 朝市との連携

目的

- ・観光ピーク時以外の駅周辺空間活用
- ・観光ピーク時以外の駅周辺空間活用

内容

- ・観光ピーク時以外の駅周辺空間活用
- ・観光ピーク時以外の駅周辺空間活用

検証項目

- ・観光ピーク時以外の駅周辺空間活用
- ・観光ピーク時以外の駅周辺空間活用

案 B：観光ピーク時以外の駅周辺空間活用

B. 観光ピーク時以外の駅周辺空間活用 | 朝市との連携

目的

- ・観光ピーク時以外の駅周辺空間活用
- ・観光ピーク時以外の駅周辺空間活用

内容

- ・観光ピーク時以外の駅周辺空間活用
- ・観光ピーク時以外の駅周辺空間活用

検証項目

- ・観光ピーク時以外の駅周辺空間活用
- ・観光ピーク時以外の駅周辺空間活用

案 C：回遊性向上

C. 回遊 | スタンプラリー

目的

- ・回遊性向上
- ・回遊性向上

内容

- ・回遊性向上
- ・回遊性向上

検証項目

- ・回遊性向上
- ・回遊性向上

案 C：回遊性向上

C. 回遊 | スタンプラリー

目的

- ・回遊性向上
- ・回遊性向上

内容

- ・回遊性向上
- ・回遊性向上

検証項目

- ・回遊性向上
- ・回遊性向上

社会実験案に対する意見

後半は、A・B・Cの3案に対する意見を参加者の方々に考えていただき、意見交換を行いました。今回出た意見を踏まえて、今後実験案のブラッシュアップを行います。

案 A：交通・滞留（駅前広場）

車両の動線に関して

- ・車両の回し方をシンプルにする必要がある
- 駅正面の道は小室浅間神社方面の道を通れない大型観光バスのみ通行可能にし、自家用車も原則一方通行とする

車両の停車場に関して

- ・バスの停車マスを4つ確保するべき
- ・4月のピーク時はバスが4台以上いた
- ・観光バスが4台目、タクシー、タウンズニーカーは駅正面の道の東側でさばく
- 三方をバスで囲まれると広場南側の道に対して閉鎖的になる
- 広場南側に車両が止まるとゴミを捨てられがち

歩行者動線に関して

- ・広場西側にペインティング等で歩行者動線を確保する
- ペインティングの材料・許可の検討が必要
- 広場南側でもペインティングの工夫をするべき
- ・ペインティングは占用にあたらぬが交通安全に配慮

滞留空間などに関して

- ・池の水を抜いて座れる場所にする（例年12月には水を抜いている）
- ・駅前広場から富士山への視線を確保する（富士山が見える高いベンチなど）
- ・富士吉田らしさを感じられるモニュメントがあると良い

案 A：交通・滞留（駐車場）+

案 B：観光ピーク時以外の駅周辺空間活用

駐車場の全面歩行者空間化に関して

- ・月極駐車場利用者への代替駐車場の用意が難しい
- ・秋の紅葉時に、駐車場需要がどうなっているのかが不透明
- ・駐車場で開催することは、住民としても賑わいが見えて良い
- ・回収板をうまく使って地元の人に来てもらう工夫をする

全面歩行者空間化時の動線に関して

<課題>

- ・ポラードの撤去は安全性が確保できないと難しい
- ・段差は子供・高齢者にとって危険なので、手すりのある階段を設置する必要がある

<代替案>

- ・より高低差が小さい踏切付近の柵を撤去し、警備員が立つ
- 踏切付近に人が滞留し危険
- 特に外国人の線路内立ち入りが増える
- 狭いので人のすれ違いができるか不明

コンテンツに関して

<芝生>

- ・駐車場に緑が入るのは景観的に良い
- ・砂利があるので、直で座るよりはファニチャーがあったほうが滞留しやすい

<飲食店>

- ・新町自治会の方に協力していただき、社会実験時にも屋台を出してもらおう
- ・キッチンカーは、地元と関係があるものを誘致したい

<展示>

- ・駅の近くで行うので、鉄道の歴史に関する展示を富士急さんにも出してもらおう
- <その他>
- ・来訪者向けに駐輪スペースが欲しい
- ・飲食以外で、リピーターを確保できるようなコンテンツが欲しい

案 C：回遊性向上

全体に関して

- ・様々な媒体で既に20以上のマップがある
- そもそもどんなマップがあってどんな情報が載っているのか、整理した方がいい
- ・色々と案が出たが全てやるのは予算的にも厳しいので、それぞれ1〜2つに絞る必要がある

ツアーに関して

<メリット・特徴>

- ・流れのあるストーリーを伝えることができる
- ・聞かないと知ることができない歴史を知ることができる
- ・個人客は深い歴史にも興味がある（去年の武蔵野大学アンケート結果）

<内容案>

- ・産業の流れをたどる（絹屋街・西裏・駅など）
- オープンファクトリーでの工場見学と合わせられるのでは
- ・人々の生活と富士山の地形を辿る
- ビュースポットと絡めればライトな層でも楽しめる

スタンプラリーに関して

<メリット・特徴>

- ・開始場所にとらわれず、好きなところから好きなだけ回ることが出来る
- 駅だけでなく各駐車場からもスタートできるようにする
- ・飲食店との相性がいい
- ・既存のイベントと組み合わせられる
- 新しく何かするというより、いかに今あるものを活用できるか（富士氷室の土曜市・オープンファクトリーなど）
- ・一番短いものはツアー客も参加できるのでは

<スタンプラリーの特典>

- ・日本からハガキを出す需要が高い
- スタンプラリーを重ねていくと一つの絵が出来上がり、そのまま手紙として出せるものが良いのでは
- ・予算的には消しゴムハンコくらいが妥当か



2. 今後の研究会の予定

これまでの研究会 5~8月

- #1 下吉田えきまちエリアの課題・情報共有
- #2 観光キャパシティの検討
- #3 駅前広場周辺の交通・みちの再編
- #4 地域資源を活かしたまちの魅力の創造
- #5 社会実験の検討

前回の研究会 #6 9月10日

- ・3つのテーマごとに具体的な社会実験案を検討

社会実験案について 各所と実現可能性を検討 9月~10月

今回の研究会 #7 10月8日(火) 18:00~19:30

- ・検討結果と進捗を共有
- ・実践に向けたテーマ間の調整

各所との調整・準備 10月~11月中旬

最終の研究会 #8 11月上旬

- ・社会実験当日に向けた打合せ

社会実験実施 (空間再編・回遊企画) 11月16-17日

社会実験後の研究会 12月

- ・社会実験の成果と課題の報告
- ・将来ビジョン提言書作成に向けて意見交換
- ・社会実験(交通企画)の実施検討

将来ビジョン提言書作成 1月以降

社会実験実施検討(交通企画) 3月以降

3. お申し込み・お問い合わせ

本研究会に参加してみませんか？
ご興味のある方は右記QRをご覧ください。お電話、メール等でもお気軽にお問い合わせください。

担当：富士吉田市ふるさと創生室 ふるさと魅力推進課
TEL：0555-22-1111 FAX：0555-22-0703 MAIL：miryoku@city.fujiyoshida.lg.jp

